

トルコ 早生のアンズ、モモ等は増収

FreshPlaza 2023年4月18日

トルコの核果類シーズンが進行中

量はまだ少ないが、トルコの核果類はゆっくりと市場に出回っている。次の数週間で、核果類の季節が完全に始まる。

トルコの青果物輸出業者であるエレン社のコスクン・エレン販売部長は、「今年の生育期間は非常に良好であった。我々はすでに温室ものの果実から出荷を始めている。現在、アンズ、モモ、ネクタリンを提供できる。出荷量が不足しているため、価格はまだ高いが、10日後にはトラックを一杯にするだけの量になると思う。露地のネクタリンの出荷は4月27～29日に始まり、5月の第1週にはモモとアンズの出荷が始まると予想している。露地もの出荷が始まると、出荷量が増加し、価格が下がる。我々は通常、9月まで核果類の出荷を続ける」と語った。(以下「」は同部長の発言)

エレン部長は、今年は量的には堅調な収穫を期待しており、そのため果実のサイズは自然と小さくなるだろうと言う。「昨年に比べて量は多い。昨年は本当に災難で、我々が経験した中で最悪の年の1つであった。今年は天候に全く問題がなかったため、メルシンやアダナなどの早生地帯では、昨年に比べて20～40%増収すると思う。これは大きな違いであり、果実の価格とサイズの両方に反映されるはずである。つまり、昨年よりも価格が良く、果実のサイズは全体的に少し小さくなる。晩生の地域、つまりブルサ地域について何かを語るのはまだ少し早い。しかし、地中海地方のほぼどこでも天気が良かったと聞いているので、この地域からも良い結果が期待される。」

昨年の核果類の出荷シーズンは非常に不安定な状況にあった。同部長は、今年は、需要と価格の両方がもう少し安定するはずだと述べている。「現在の需要は通常の範囲内にあり、高くも低くもない。昨年は需要が非常に高く、不安定であったが、価格も非常に高く、致命的な組み合わせであった。ある日商品を取引し、翌日には価格が30%増減する非常に危険な状況であった。今年は、需要と供給がより正常だ。私は個人的には爆発的な需要よりも着実な需要を好む。露地もの出荷シーズンが始まれば需要は上向くと思うし、出荷シーズンを通じて安定した需要がある良い年になると期待している。」

新しい核果類の出荷シーズンとなり、同部長は新しい品種を追加し、北欧地域での市場シェアを拡大したいと考えている。「昨年、ヨーロッパでの取引は予想よりも少なく、何を売るのもほとんど不可能であった。今年はこのが変わり、EUで通常どおり安定した量売れることを願っている。ロシアは核果類の主要輸出先であるが、北米や極東地域へも航空貨物で出荷している。核果類の販売先を、特にデンマーク、スウェーデン、ノルウェーなど北欧諸国でさらに拡大したいと考えている。今年は、数年前に追加した扁平なモモ(蟠桃)に加えて、扁平なネクタリンを品揃えに追加するので、そこでもある程度の注目を集めることを期待している。」

「素晴らしいシーズンとなることを期待している。出荷量が多く、品質が良い場合、物事が悪い方に進むことはめったない。今年は多くの商品の選択肢があり、そういった場合は通常、手頃な価格で品質のかなり良いものを手に入れることができる。」